

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●横山武史騎手がJRA通算200勝を達成

1月16日(土)の1回中山5日・第6レースではオメガロマン스가1着となり、同馬に騎乗した横山武史騎手(美浦・鈴木伸尋厩舎)は、現役58人目となるJRA通算200勝(2524戦目)を達成しました。

### ●幸英明騎手が史上最速でJRA通算2万1000回騎乗を達成

1月16日(土)の1回中京5日・第8レースでタマモサザンクロスに騎乗した幸英明騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上4人目・現役4人目となるJRA通算2万1000回騎乗を達成しました。デビューから26年10か月12日、45歳0か月5日での2万1000回騎乗達成は、武豊騎手の記録(デビューから31年1か月8日、49歳0か月25日)を更新するJRA史上最速・最年少記録となります。

### ●調教師3名が節目の勝利を達成

1月16日(土)の1回中京5日・第7レースではデルマカミカゼが1着となり、同馬を管理する小野次郎調教師(美浦)は、現役156人目となるJRA通算100勝(延べ2460頭目)を達成しました。同日の1回小倉1日・第10レースとして行われた小郡特別ではタマモティータイムが1着となり、同馬を管理する南井克巳調教師(栗東)は、現役44人目となるJRA通算400勝(延べ5285頭目)を達成しました。翌17日(日)の1回中京6日・第1レースではエイユーストロンクが1着となり、同馬を管理する鈴木孝志調教師(栗東)は、現役110人目となるJRA通算200勝(延べ2911頭目)を達成しました。

### ●ダイメイプリンセス、トロワゼトワルの競走馬登録抹消

2019年テレビ西日本賞北九州記念(GⅢ)などの勝ち馬ダイメイプリンセス(牝7歳/栗東・森田直行厩舎/JRA通算40戦7勝)、2019年・2020年に京成杯オータムハンデキャップ(GⅢ)を連覇したトロワゼトワル(牝5歳/栗東・安田隆行厩舎/JRA通算22戦6勝)は、2020年12月25日(金)付で競走馬登録を抹消されました。ダイメイプリンセスは北海道日高町の横井哲牧場、トロワゼトワルは北海道千歳市の社台ファームで繁殖馬となる予定です(年齢は抹消時)。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●マルシュロレーヌがTCK女王盃(大井)で2度目の重賞制覇

TCK女王盃(JpnⅢ、1月20日、大井、1800<sup>米</sup>)は、7番手前後から追い上げた単勝1.9倍で1番人気のマルシュロレーヌ(川田将雅騎手、牝5歳、父オルフェーヴル)が、先に抜け出した3番人気のレーヌブランシュをゴール前で差し切り、レディスペリユードに次ぐ2度目の重賞勝ち。逃げたプリンシアコメータが3着に粘り、2番人気の昨年の覇者マドラスチェックは4着(同着)、ローザノワールは7着に敗れています。

### ●金杯(水沢)は人気のリュウノシンゲン【各地の主要3歳重賞】

金杯(1月2日、水沢、1600<sup>米</sup>)は、3番手から4コーナーで先頭に立ったリュウノシンゲン(牡、父グランプリボス)が直線の競り合いを制し、単勝1.1倍の支持に応じて重賞4勝目をあげました。

### ●オメガパフュームらが参戦、1月27日の川崎記念(川崎)

川崎記念(JpnⅠ、1月27日、川崎、2100<sup>米</sup>)は、小回りコースが鍵もオメガパフュームが中心、以下ロードプレス、カジノフォンテン(船橋)、デルマルーヴル、ダノンファラオ、ハナズレジェンド、ミュウチャリー(船橋)の順に有力視されます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●フランケルやエネイブルを生産所有したアブドゥラ殿下が死去

2011年・2012年の欧州年度代表馬フランケル(チャンピオンSや英2000ギニーなど10のG1を含む14戦無敗)や、2017年・2019年の欧州年度代表馬エネイブル(2017年・2018年の凱旋門賞連覇などG1に11勝)など数々の名馬のオーナーブリーダーとして知られたカリド・アブドゥラ殿下が1月12日に85歳で亡くなりました。現在のサウジアラビア国王のいここにあたるアブドゥラ殿下は1979年10月にノウンファクトでミドルパークSを制してG1初制覇。80年代に入ると本格的な生産活動をスタートさせ、ジャドモントの名の下でイギリス、アメリカ、アイルランドに牧場を所有。これまで100頭を超す自家生産馬でG1を制したほか、生産馬ではありませんが、1986年のG1凱旋門賞を制したダンシングブレーヴ、2016年のG1ブリーダーズクラシックの勝ち馬アロゲートなども所有しました。馬主として、英ダービーに3勝(1990年クエストフォーフェイム、1993年コマンドーインチーフ、2010年ワークフォース)、凱旋門賞は6勝(1985年レインボークエスト、1986年ダンシングブレーヴ、2006年レイルリンク、2010年ワークフォース、2017年・2018年エネイブル)をあげました。